

習志野市議会議員 新社会の会

# 藤崎ちさこ

市議会ニュース

2019年 7月発行

習志野市袖ヶ浦

3-7-5

責任者 藤崎ちさこ

☎ 090-8312-7845



## 2019年 6月市議会

またも、公民館など

### 各種使用料の値上げ

習志野市議会は5月31日に開会し、6月27日まで審議しました。今議会は、2019年度一般会計補正予算、介護保険特別会計補正予算、また、公共施設の使用料の改定、「谷津干潟自然観察センター」の使用料の改定などの議案を審議しました。主な議案をご紹介します。

#### ◎一般会計補正予算

【補正額】5億2,231万円

【歳出概要】

- ・大久保地区公共施設再生事業
- ・参議院議員選挙
- ・未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時特別給付金支給
- ・プレミアム付商品券事業他

#### ◎使用料、手数料等の改定

- ・コミュニティセンター施設等
- ・公民館施設等
- ・鹿野山少年自然の家使用料
- ・スポーツ施設使用料
- ・海浜霊園管理料
- ・谷津バラ園入園料

これら使用料の改定には、10月からの消費税率の引上げに伴う改定と、2020年4月の定期的な改定があります。

#### ◎市税条例の一部改正

- ・個人市民税、法人市民税の改正
- ・軽自動車の取得者に課する「環境性能割」を創設する。車の種類と排出ガス基準達成度によって、税率が「非課税」から「2.0%」の新税となる。

#### ◎谷津干潟自然観察センターの使用料

【入館料】

- ・高校生以上 65歳未満 370円 → 560円
- ・65歳以上 180円 → 280円

【年間パスポート】

- ・高校生以上 65歳未満 1,850円 → 2,800円
- ・65歳以上 920円 → 1,400円

#### ◎谷津小学校給食室備品一式の購入

- ・制限付き一般競争入札による
- ・価格 7,040万円
- ・相手方 日本調理機株式会社（千葉市）。市内業者を育成すべきである。

(撮影：谷津バラ園にて)



## ◎介護保険条例の改正

消費税率の10%に引き上げによる低所得者の保険料軽減のため、第1号被保険者(65歳以上の人)に係る保険料の改正をします。

所得段階	改正前	改正後
第1段階	27,120円	22,280円
第2段階	41,970円	33,900円
第3段階	46,490円	44,880円

【第1段階】生活保護受給者、老齢福祉年金受給者、市町村民税世帯非課税者(所得合計80万円以下)

【第2段階】市町村民税世帯非課税者(所得合計80万円超120万円以下)

【第3段階】市町村民税世帯非課税者(所得合計120万円超)

(施行)2019年度以後の保険料から適用。

◎続いて、一般質問についてご報告します。

## 1. 放課後児童会の問題について

【質問：藤崎】

既に第4児童会まである谷津小学校、第3まである東習志野小、既にスペースの無い鷺沼小について、どのように取組んでいくのか。

【答弁：こども部長】

次期支援事業計画において方策を定めていく。鷺沼小は、2020年4月に向け、学校外に児童会室を確保することも検討。

【質問：藤崎】

民間委託した児童会では職員の入替り、タッチ方式の機械導入などで、個々の子どもたちを十分に理解していないという問題がある。どう考えるのか。

【答弁：こども部長】

2018年度の満足度調査では96.8%の保護者から評価をいただいている。民間業

者は独自に様々な取組みをしている。

【質問：藤崎】

政府は、支援員の基準を撤廃しようとしているが、保育の質の低下が心配だ。習志野市は基準を緩めるべきではないと考えるが、如何か、伺う。

【答弁：こども部長】

習志野市は、現在の基準通りの児童会運営を行っていく。

## 2. 受動喫煙防止の取組について

【質問：藤崎】

喫煙する人の立場にも立った取組み、例えば、隔離された喫煙場所の設置が無ければ、条例が守られないのではないか。

【答弁：健康福祉部長】

市が積極的に喫煙場所を確保することはできない。



【質問：藤崎】

煙草販売店の設置する喫煙場所に対する、受動喫煙防止のための支援を、期間を限定して行えないか。

【答弁：健康福祉部長】

本条例では、事業者の責務について規定。市として直接的な支援はしない。

【要望】市民のみなさんの健康に資するため

条例が定着するよう取り組んで欲しい。

### 3、障がいのある方が安心して暮らせるための取組について

【質問：藤崎】

障がいのある方が安全に歩行するための道路歩道の整備や、音響式信号機の運用の取組はどのようなものか、伺う。

【答弁：都市環境部長】

歩道の段差・勾配の改善、視覚障がいの方のための誘導用ブロックの設置、音響式信号機の整備など、バリアフリー化を実施。

【質問：藤崎】

災害時、障がいのある方への情報伝達と避難誘導は、どのように取組んでいるのか。

【答弁：都市環境部長】

防災行政無線やメールサービス「緊急情報サービスならしの」、避難情報のテレビ文字放送など伝達手段の多様化を図っている。避難は「要配慮者支援マニュアル」に基づき、地域の支援者中心に実施する。

【質問：藤崎】

視覚障がいのある方のための音声回覧板など、地域のボランティア活動に対する支援はあるのか。

【答弁：健康福祉部長】

市民参加型補助金制度はあるが、障がいのある方へのボランティア団体の、経常的な活動助成は今のところない。

### 4、小中学校における外国籍の子どもたちの問題について

【質問：藤崎】

外国籍の児童生徒数は増え続けている。日本語による学習の理解が難しく、学習意欲の低下が心配。どのように対応しているのか、伺う。

【答弁：学校教育部長】

各学校において、一人ひとりの課題に応じて個別に支援。また、多言語翻訳システムなどのICT機器を活用し対応。



【質問：藤崎】

外国籍の児童生徒の支援をする言語文化指導者の配置を、さらに充実して頂けないか。

【答弁：学校教育部長】

言語文化指導者には、授業中の援助や保護者との連絡等、多様な業務を担っていただいている。その役割は、増々重要になると認識している。以上。

#### 議案・陳情に対する賛否の理由

【2019年度一般会計補正予算】

消費税増税による、市民への負担増に対する配慮が不十分であるため、**反対**。

【使用料・手数料等の改定】

市民が利用する公共施設の使用料が、高すぎる値上げとなるため、**反対**。

【低所得者のための介護保険料軽減】

消費税増税による低所得者の保険料軽減であるため、**賛成**。

【辺野古新基地建設の中止を求める陳情】

新基地建設は、県民投票で示された沖縄県民の民意を軽視しているため、**賛成**。

## 議案・請願・陳情に対する議員の賛否

所属会派	氏名	2019年度一般 会計補正予算	使用料・手数 料改定	低所得者のための 介護保険料軽減	辺野古新基地建設 中止を求める陳情
新社会の会	藤崎ちさこ	×	×	○	○
市民の会	宮内 一夫	×	×	○	○
日本共産党	谷岡 隆	×	×	○	○
	荒原ちえみ	×	×	○	○
	入沢 俊行	×	×	○	○
環境みらい	央 重則	○	○	○	○
	市角 雄幸	○	○	○	○
	中山 恭順	○	○	○	○
	市瀬 健治	○	○	○	○
民意と歩む会	木村 孝	○	○	○	○
	佐野 正人	○	○	○	○
	立崎 誠一	×	×	○	○
	宮城 壮一	○	○	○	○
都市政策研究会	平川 博文	○	○	○	×
真政会	荒木 和幸	○	○	○	×
	宮本 博之	○	○	○	×
	鮎川 由美	○	○	○	×
	斎藤 賢治	○	○	○	×
	佐々木秀一	○	○	○	×
公明党	小川利枝子	○	○	○	×
	清水 晴一	○	○	○	×
	布施 孝一	○	○	○	×
	真船 和子	○	○	○	×
	木村 孝浩	○	○	○	×
元気な習志野 をつくる会	田中真太郎	議長	—	—	—
	関根 洋幸	○	○	○	×
	高橋 正明	○	○	○	×
	相原 和幸	○	○	○	×
	飯生 喜正	○	○	○	×
	清水 大輔	○	○	○	×
<b>結果</b>		<b>23 : 6</b> 可決	<b>23 : 6</b> 可決	<b>全員賛成</b> 可決	<b>13 : 16</b> 否決